

施設理念	私達は、子どもたち及びその家族が安心して利用できる温かい居場所となる。				
支援方針	一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を行います。 心身の安定を図りながら発達を促し、自立に向けた支援を通して、主体的に学ぶ意欲と将来の社会生活に必要な力を育みます。 また、日常生活や集団生活の中で必要に応じて援助を求めることができる社会性を育成し、安心して人と関わる力を身につけられるよう支援します。 さらに、地域との交流を大切に、子どもの心の成長を支えるとともに、障がい理解の促進と共生社会の現実に寄与します。				
営業時間	9時	分から	18時	分まで	送迎実施の有無 ○あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	食物を植える→育てる→収穫する→食べるという一連の流れを体験し、食の大切さを感じる体験を行い、食べることが身体を作り生きるという事を学び、生活習慣を規則正しくできるよう支援を行います。(家庭菜園、食育プログラム) 自分自身の持ち物の管理や片付けなど、自分で出来ることを増やし自立を促す支援を行います。			
	運動・感覚	苗植えなどで土を触る、描画にて手や足で絵の具を使って描く、工作で巧緻性を高める支援を行います。(微細運動・感覚統合) 体操や外活動で様々な動作の習得、感覚を感じる支援を行います。(粗大運動・エクササイズプログラム、体験プログラム)			
	認知・行動	発達特性をもつ子どもたちには、タイムスケジュールをたて、活動の習慣化、絵カードなどの視覚的要素を取り入れ支援を行います。 一人ひとりの感覚や認知、行動特性を把握し、支援を行います。			
	言語 コミュニケーション	地域交流や外活動を通して、言語や表情、態度など他者の理解、受容、コミュニケーションを学習・活用し 自分の意思の伝達ができるような支援を行います。			
	人間関係 社会性	地域交流や外活動で人や社会との繋がりを深め、今後の社会生活に繋がる環境の提供支援を行います。 ルールのある遊びで、順番を待つ→お友達へ自分の気持ちを伝える、感情のコントロールできるよう支援を行います。			
家族支援	保護者と日々の小さな変化や成長を共有し、想いや悩みを受けとめ、ご家庭や関係機関との連携しながら、子どもたちが豊かに成長できる環境作りを一緒に進めていきます。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流や情報交換の機会を提供致します。		
地域支援・地域連携	・学校との情報共有や関係機関、専門機関と連携し、支援に繋がっていきます。 また、放課後児童クラブや児童館との交流、地域イベントなどに参加し活動する機会を提供致します。 ・近隣の同施設との交流を図り、コミュニケーション、社会性を支援していきます。	職員の質の向上	社内外の研修へ定期的に参加し、支援の質の向上に努めていきます。また、地域の学校・クリニック・福祉機関等に日々足を運び情報の収集及びアップデートを行っていきます。		
主な行事等	◆季節に関するプログラム(花見、七夕、ハロウィン、クリスマス会など) ◆運動に関するプログラム(体操、運動会、外遊び、農業体験など) ◆学習に関するプログラム(脳バランサーキッズ、学習アプリなど) ◆SSTに関するプログラム(ロールプレイング、ゲームなど) ◆ABAに関するプログラム(DTTプログラム、PRTプログラム) プログラムは、個々のニーズに合わせ新たに企画し、提供していきます。				